

第4分科会

「若手ワールドカフェ☆～明日も元気になれる～」

【ねらい】

若手の福祉・保育に携わるみなさんが「社会福祉って何だろう？」と自分で考え、自分の言葉にすることによって、少しでも「権利としての社会保障・社会福祉」が実感できることをねらいとしています。また、話し合うことで、同じ目標や、同じ方向を目指している、「仲間」の存在を感じてほしいです。そして職場や地域に変えた時に明日も元気になれるようにとも考えています。

【当日内容】

分科会全体進行：西田知也さん（全国福祉保育労働組合東海地方本部）

9:30～

①「月で迷ったゲーム」

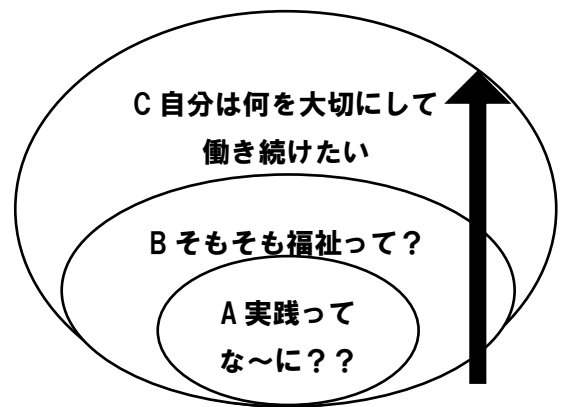
1日グループワークをするので、話しやすい雰囲気づくりを目的として簡単なゲームをやります。

10:30～15:00(途中休憩 12:00～13:00)

②ワールドカフェ

ワールドカフェのやり方

- 1、「月で迷ったゲーム」のグループで始めます。
- 2、旅人とホストに分かれ、旅人は話し合うテーマごとに違う班へ移動をします。
- 3、各テーマを話し合う前に全体報告者1人が話します。
- 4、「フィンランドの小学生が作った議論のルール」を守り、みんなが気持ちよく話せるようにします。
- 5、ポストイットに自分の意見を書いて、模造紙に貼っていきます。
- 6、1人1回は発言ができるように保障します。
- 7、発言はトーキングオブジェクトを持っている人が話せます。他の人は話しを聞きます。



話し合うテーマ

- a 「実践ってな～に？」…自分の実践大切にしていることなど書きだしていきます。
- b 「そもそも“福祉”って？」…自分の想像する“福祉”ってどんなことか話し合おう！書き足そう！
- c 「自分は何を大切にしたい？」…何を大切にしたいか、自分の想いを語ろう！

最初のグループに戻り振り返りをします。（どんな話の膨らみがあったか、違うグループでは？）

グループで話し合い共有できたことを全体の場で発表しよう！

15:00～15:30

③まとめにかえて：谷口由希子さん（名古屋市立大学）

ワールドカフェで話し合ったことを通しながら、自分たちが何に依拠した仕事・活動をしているのかを振り返り、「憲法で保障された権利」であること、「権利としての社会保障・社会福祉」があることを改めて、研究者からミニ講演あり☆